

2025年7月9日

関係各位

株式会社パテント・リザルト

【ハウスメーカー】他社牽制カランキング 2024 トップ3は大和ハウス工業、ミサワホーム、トヨタホーム

弊社はこのほど「ハウスメーカー業界」の特許を対象に、2024年の特許審査過程において他社特許への拒絶理由として引用された特許件数を企業別に集計した「ハウスメーカー業界 他社牽制カランキング 2024」をまとめました。

この集計により、直近の技術開発において競合他社が権利化する上で、阻害要因となる先行技術を多数保有している先進的な企業が明らかになります。

集計の結果、2024年に最も引用された企業は、1位 **大和ハウス工業**、2位 **ミサワホーム**、3位 **トヨタホーム**となりました。

【ハウスメーカー業界 他社牽制カランキング 2024 上位10社】

順位	企業名	引用された特許数
1位	大和ハウス工業	191
2位	ミサワホーム	170
3位	トヨタホーム	120
4位	積水ハウス	108
5位	旭化成ホームズ	70
6位	住友林業	63
7位	パナソニックホームズ	51
8位	三井ホーム	18
9位	住友林業ホームテック	3
10位	ヤマダ・エスバイエルホーム	2

【ランキングの集計対象について】

日本特許庁に特許出願され、2024年12月までに公開された全特許のうち、2024年1月～12月末の期間に拒絶理由（拒絶理由通知または拒絶査定）として引用された特許を対象に、抽出・集計をしています。また本ランキングでは、権利移転を反映した集計を行っています。2025年5月時点で権利を保有している企業の名義でランキングしているため、出願時と企業名が異なる可能性があります。なお各企業の業種につきましては、総務省の日本標準産業分類等を参考に分類しています。

1位 **大和ハウス工業**の最も引用された特許は「居住者の洗濯物の片付け作業を自発的に行える、子育てファミリー向けの住宅」に関する技術で、積水ハウスなどの計4件の審査過程で引用されています。このほかには「マスクの膨らみを適切に保持し、顔に合わせて微調整できるフレーム状のマスクインナー」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、アーティストデザインなどの計3件の拒絶理由として引用されています。

2024年に、大和ハウス工業の特許によって影響を受けた件数が最も多い企業は積水ハウス（15件）、次いでパナソニック（8件）となっています。

2位 **ミサワホーム**の特許のうち、最も他社に引用されたものは、トヨタホームとの共同保有による「訪問者認証システム」に関する技術であり、LIXILを含む計2件の審査過程で拒絶理由通知において引用されています。また、同様に引用件数の多い特許として、「セメントと木質材料を組み合わせた荷重および座屈に強い建築用構造部材」に関する技術があり、大成建設を含む計2件の拒絶理由通知で引用されています。

2024年に、ミサワホームの特許によって影響を受けた件数が最も多い企業は積水ハウス（23件）、次いで大和ハウス工業、パナソニック（いずれも8件）です。

3位 **トヨタホーム**の最も引用された特許は「災害時給電システム」に関する技術で、トヨタ自動車やNTTアノードエナジーなど計5件の審査過程において拒絶理由として引用されています。

2024年に、トヨタホームの特許により影響を受けた件数が最も多い企業はトヨタ自動車（20件）、次いでパナソニック（14件）となっています。

4位 **積水ハウス**は「電子情報表示機能を持たせた配線装置」、5位 **旭化成ホームズ**は「居住者の利便性を向上しつつ、住宅外から住宅内への不審者の侵入を抑制できるパントリー」が、最も引用された特許として挙げられます。

また弊社では、ランキングデータを下記の通り販売しています。

【ハウスメーカー業界 他社牽制力ランキング 2024 データ】

- ▶納品形態：以下のデータを収録したエクセルファイルをメールで御納品※
（※データ一式を収録したCD-Rでの御納品をご希望の場合はご相談ください）
 - ・ランキング トップ10社：本業界の被引用件数上位10社のランキング
 - ・被引用件数 トップ100件：本業界の被引用件数上位100特許、及び引用先の特許との対応
- ▶価格：50,000円（税抜）

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社パテント・リザルト 事業本部 営業グループ

URL：<https://www.patentresult.co.jp/>

e-mail：info@patentresult.co.jp